

TOKYO2020
文化
オリンピック



PKT (パフォーマンスキッズ・トーキョー)
ホール Vol.54
ダンス公演

生きるってなんだ!?

日時

平成30(2018)年

9月1日(土) 午後3時 開演

会場

たましん RISURU ホール (立川市市民会館) 小ホール

入場無料
Admission Free

出演

小学3年生～6年生の子供たち



構成・振付・出演

田村一行 (大駱駝艦舞踏手・振付家)



©小林直博(鶴と亀)



©松本和幸



©仙道美穂子

主催: アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、
特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、公益財団法人立川市地域文化振興財団
助成・協力: 東京都
後援: 立川市教育委員会



TokyoTokyo
Road to
FESTIVAL

パフォーマンスキッズ・トーキョー ダンス公演

「#存在の証明」

©仙道美穂子

生まれて笑っておどろいて、
遊んでころんであくびして…
人生には、自分にしかできない
表現が満ちあふれています。
誕生以前の長い旅路を空想し、
今いる自分を見つめてみる。
あなたはあなたの中に、
存在の奇跡を知る！

©松田純一

子供たちが田村一行さんと一緒に
9日間のワークショップで創作した
ダンス公演

構成・振付・出演

田村一行

(たむらいっこう | Ikko Tamura)

大駱駝艦舞踏手・振付家

Butoh dancer/choreographer for Dairakudakan

1998年大駱駝艦に入艦。舞踏家・俳優である唐赤児に師事。2008年文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。小野寺修二、宮本亜門、白井晃、渡辺えり、笠井毅、ジョセフ・ナジの舞台など客演も多数。舞踏の特性を活かしたワークショップは、各分野のアーティストのみならず、子供から高齢者まで幅広く好評を得ている。2011年より地域創造現代ダンス活性化事業登録アーティスト。第34回舞踊批評家協会新人賞受賞。

大駱駝艦とは…1972年に旗揚げされた唐赤児主宰の舞踏カンパニー。その様子を天賦典式(てんぷてんしき: この世に生まれ入ったことこそ大いなる才能とす)と名付け、常に忘れ去られた「身振り・手振り」を採集、構築し数多くの作品を生み出し国内外で上演している。白塗り・剃髪などの外見的特徴も目を引くが、その根底にある考え方は芸術の世界のみならず、幅広いジャンルに通じ様々な人に影響を与え続けている。

田村一行

日時 | Date

平成30(2018)年 9月1日(土) 午後3時 開演

受付開始は開演の1時間前

開場は30分前

出演

小学3年生～6年生の子供たち

入場無料 全席自由

入場は当日受付順/未就学児も入場可

観覧ご予約方法

芸術家と子どもたちウェブページから予約

以下のサイトにアクセスして予約専用フォームからお申込み下さい。

http://www.children-art.net/pkt/pkt_invite/

※申込後、一週間以内に申込受付確認のご連絡を致します。返信の無い場合は右記までお問合せ下さい。



問い合わせ先 | Contact

特定非営利活動法人

芸術家と子どもたち

NPO Children Meet Artists

PKT ホール専用お問合せ窓口: 070-5455-5626

TEL: 03-5906-5705

MAIL: pkt-adm@children-art.net

※公演の3日前以降のお問合せ・お申込みは070-5455-5626にお願いいたします。

※やむを得ない理由によりプログラム内容に変更が生じる場合がございます。

スタッフ | Staff

照明: 加藤泉 舞台監督: 田中翼 協力: 大駱駝艦 宣伝美術: 宮村ヤスヲ

企画・制作: 特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち

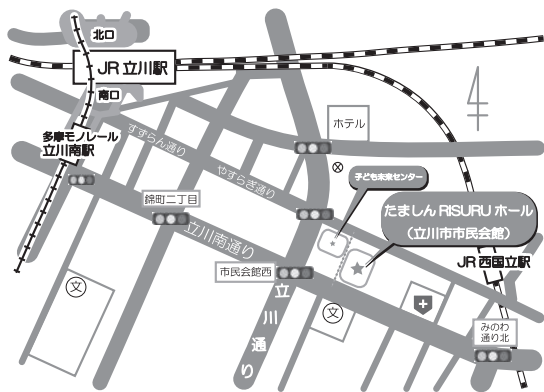
会場 | Venue

たましん RISURU ホール (立川市市民会館) 小ホール
Tamashin RISURU Hall (Tachikawa Civic Hall) Small Hall

〒190-0022 東京都立川市錦町3-3-20

TEL: 042-526-1311

JR中央線・南武線・青梅線・五日市線「立川駅」下車 徒歩13分



パフォーマンスキッズ・トーキョー

ダンスや演劇・音楽のプロのアーティストを学校やホール、児童養護施設等におよそ10日間派遣、ワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品をつくります。